



## 星野 暁

### 経歴

- 1945 新潟県見附市に生まれる
- 1971 立命館大学卒業
- 1974~80 走泥社会員
- 1981 国際陶芸アカデミー会員
- 1986 集中豪雨により裏山が崩れアトリエを失う

### 個展

- 1974~1999 ギャラリー射手座、番画廊、ウエストベスギャラリーコズカ等
- 1999~2000 「再生/コペルニカス以前の泥Ⅱ」 アリアナ美術館・ジュネーヴ
- 2000~2001 「古代緑地」 西フランドル州立近代美術館
- 2001 「古代緑地の雨」 ヴィクトリア&アルバート美術館
- 2002 星野暁/黒陶「出現する形象」 【滋賀県立近代美術館】  
「泡の誕生Ⅱ」 【ギャラリーデウィットフット・アムステルダム】
- 2003 「古層の残像/地質の記憶—樹々は触手を挙げて星を焚く」  
【ウエストベスギャラリーコズカ・名古屋】
- 2004 「闇の中の黒い馬」 【ギャラリーデウィットフット・アムステルダム】  
「始まりの形—ラセンに出会う時」 (ギャラリーDen・大阪)
- 2006 「始まりの形—ラセンに出会う時」  
【ナンシー・マーゴリス・ギャラリー、ニューヨーク】  
【シェーン—ジョセフ国際陶芸美術館、アルフレッド、ニューヨーク州】
- 2007 「始まりの形—ラセン 07」  
【ガトブギャラリー、CSU—ロングビーチ、カリフォルニア州】
- 2008 「春の雪」 【フランクロイドギャラリー、カリフォルニア州】  
「開始之形 '08」 【台北県立鶯歌陶瓷博物館、台湾】
- 2009 始まりの形—ラセン、春の雪09」  
【ギャラリーデウィットフット・アムステルダム】  
「春雪」 【臻品藝術センター・台中、台湾】  
「春の雪」 【フランクステアートギャラリー、ゲント】
- 2010 「螺旋/春雪」 【富貴陶園・鶯歌、台湾】



- 2011 「螺旋/春の雪」 【ムゼオン No.1 ギャラリー、ブダペスト】  
「螺旋/春の雪」 【ギャラリーデヴィットフット イン アートアムステダ  
ム】  
「始まりの形—緑の螺旋」 【アカデミアギャラリー、ソフィア国立美術  
大学、ブルガリア】
- 2015 「星野暁展」 土と手の間から 【艸居、京都】  
「Black Horse in the Dark」 【アートコートギャラリー、大阪】
- 2016 「原始が土を踏んでいく」 【ギャラリー恵風、京都】  
「表層・深層」 【アートコートギャラリー、大阪】
- 2017 「始まりのかたち—螺旋' 17 」 【LIXIL ギャラリー、東京】  
「始まりのかたち」 【ギャラリーみつけ、見附、新潟】
- 2020 「山水気—身体と自然」 【艸居、京都】

#### 企画展

- 1974~80 走泥社展 【京都市美術館・東京伊勢丹】
- 1979~82 走泥社オーストラリア巡回展 【シドニー・ニューキャッスルなど】
- 1981 アート・ナウ70~80 【兵庫県近代美術館】
- 1982 日本の陶芸、新しい形【日本文化会館・ローマ、ファエンツァ国際陶芸美  
術館・イタリア】  
現代陶芸 I —いま、土と火で何が可能か— 【山口県立美術館】
- 1983 現代美術の新世代展 【三重県立美術館】  
今日の日本の陶芸 【スミソニアン美術館・ワシントンU.S.A.ビクトリ  
ア&アルバート美術館・ロンドン】  
今日の日本美術の視点—25人の絵画、彫刻、陶芸、写真 【ラッツ美術  
館、ジュネーヴ美術歴史博物館・ジュネーヴ】
- 1985 第二回アジア美術展 【福岡市美術展】  
第三回現代陶芸ビエンナーレ・シャトゥール 展 【ベルトラン美術館・フランス】  
パシフィック・コネクションズ 【LAICA・ロサンゼルスなど】
- 1986 ESTIU JAPO '86 【コロナミ・オロット・スパイ】
- 1987 土と炎展—今日の造形、新たな展開と可能性 【岐阜県美術館】
- 1988 東西現代陶芸展- ソウルオリンピック・アートフェスティバル 【コーリアンアートセンタ  
ー・ソウル】
- 1990 土の発見 —現代陶芸と原始土器— 【滋賀県立陶芸の森陶芸館】
- 1992 現代日本陶芸展—その連続と変化 【エバーソン美術館・ニューヨーク  
州】
- 1993 世界の工芸-所蔵作品による 【京都国立近代美術館】



- 現代の陶芸展 1950-1990 【愛知県美術館】
- 1994 「素材の領分」展 【東京国立近代美術館工館】
- 1995 SATORU HOSINO, SATORU SHOJI コンテンポラリー ジャパニーズ スカルプチャー  
【ANUドリルホールギャラリー・キャンベラ】  
ジャパニーズ スタジオ クラフト — 伝統と前衛 【ビクトリア&アルバート美術館・ロンドン】
- 1998 ネチャー アズ オブジェクト — 日本、フィンランド、オーストラリアのクラフトとデザイン  
【西オーストラリア美術館、パース】  
ネオ ラグーン—北東アジアの現代美術 【新潟市民会館ギャラリー】  
アート／生態系—美術表現の「自然」と「制作」 【宇都宮美術館】
- 1999 20世紀の陶芸 【滋賀県立陶芸の森陶芸館】  
日本の現代陶芸 【ファン・ボンメル、ファン・ダム、フェノ美術館・オランダ】
- 2001 オブジェ&インスタレーション 【グリマフス陶芸美術館・デンマーク】  
世界陶磁器EXPO2001-IAC会員展 【朝鮮官窯博物館・広州, 韓国】
- 2002 Satoru Hoshino・Kayoko Hoshino 近作展 【土画廊・ソウル】
- 2003 o. v. t. 展 【ファン・ボンメル、ファン・ダム、フェノ美術館・オランダ】  
大地の芸術—クレイワーク新世紀 【国立国際美術館】
- 2006 国際建築的陶芸展 【クレイアーク・キメ美術館、金海・韓国】  
花より工芸—新収蔵作品を中心に 2001-2005 【東京国立近代美術館工芸館】
- 陶磁・日本の伝統から前衛まで 【セーブル美術館、パリ】  
「環」— グリーンギャラリー国際陶芸コレクション  
【オークランド美術館・ニュージーランド】
- 2007 極東と西洋の出会い展 【ガレリエ マリアン・ヘラー、ドイツ】
- 2008 星野暁、佳世子陶芸展 【伊丹市立工芸センター】
- 2009 「無重力」ミッシェル・ケーナ & 星野暁  
【スタニアー・ギャラリー、ヴァージニア, USA】  
「素材とイメージ」アキオ・タカモリ & 星野暁  
【ヴィッテザール、セントルーカス・ゲント校, ベルギー】  
「磁器もう一つの道」 【ヴァルブジェフ美術館・ポーランド】
- 2010 第21回ヴァロリス国際陶芸ビエンナーレ  
【マニエリ美術館/陶芸博物館・ヴァロリス、南フランス】  
台湾国際陶芸ビエンナーレ 【鶯歌陶瓷博物館・台湾】
- 2011 「テラコッタ、プリミティヴ フューチャー」  
【クレイアーク・キメ美術館、韓国】



- 2012 “Moon & Sun” 星野 佳世子、暁の陶彫  
【ジョン・マービス LTD、ニューヨーク】
- 2012 XXXV <Porcelain Another way> (バルヴジェフ美術館, ポーランド)  
<Wood-fire-Landscape> (ルスカ美術館 イエテボリス ウェーデン)
- 2013 星野 暁、佳世子 インキャンベラ  
【ワトソンアートセンター、キャンベラ】  
星野 暁、佳世子展 (レスリー・キーホーギャラリー、メルボルン)
- 2014 <The 3rd ARCTICLAY 2013>  
(アヌ・ペンティク G、ポシオ、フィンランド)  
<第 14 回国際陶芸シンポジウム> 展  
(アートパレス、カイロ、エジプト)
- 2015 白髪一雄、星野暁 <Body and Matter>  
(ドミニク・レヴィ G、ニューヨーク)
- 2016 現代陶芸展—The Ceramic View Bangkok  
(ナショナルギャラリー、バンコク)
- 2017 「走泥社の影」  
(アイルランド国立美術館、コリンズバラックス、ダブリン)
- 2018 「ダブルスパイラル」 星野佳世子、暁  
(ジョン・マービス Ltd、ニューヨーク)  
セラミックス ナウ ファエンザ 60 周年記念展  
(国際陶芸美術館、ファエンザ)  
水と土の芸術祭—新潟  
(新潟市美術館—海の庭、山の庭、安吾風の館、旧斎藤家土蔵)  
インド陶芸トリエンナーレ—開拓  
(ジャワハー美術センター、ジャイプール)
- 2018 台湾国際陶芸ビエンナーレ—人文回帰 (新台北市鶯歌陶芸博物館)
- 2019 「走泥社：オーストラリアとのつながり」 展  
(ニューカッスル美術館、オーストラリア)

## 受賞履歴

- 1979 第 5 回日本陶芸展 「表層・深層Ⅱ」 文部大臣賞受賞
- 1980 第 2 回ジャパンエンバ美術コンクール 「表層・深層Ⅳ」 優秀賞受賞
- 1998 サントリー美術大賞展—挑むかたち 「古代緑地Ⅷ」 佐治奨励賞受賞

## 公共収蔵



京都国立近代美術館  
ニューキャッスル市美術館(オーストラリア)  
山口県立美術館,  
アリアナ美術館(スイス)  
ファエンツァ国立陶磁器博物館  
ベルトラン美術館(フランス),  
エバーソン美術館(U,S,A)  
和歌山県立近代美術館  
ビクトリア& アルバート美術館(イギリス)  
京都市美術館  
高松市立美術館  
陶芸の森陶芸館  
愛知県陶磁資料館,  
パワーハウス美術館(オーストラリア)  
州立装飾美術財団(スイス),  
西フランドル州立近代美術館(ベルギー)  
滋賀県立近代美術館  
岐阜県現代陶芸美術館  
東京国立近代美術館工芸館  
ミネアポリスインステチュートオブアート(USA),  
シェーンージョセフ国際陶芸美術館(USA)  
オークランド美術館 (ニュージーランド)  
クレイアーク金海美術館 (韓国)  
ロングビーチ美術館 (USA)  
台北県立鶯歌陶瓷博物館 (台湾)  
ヴァルブジェフ美術館 (ポーランド)  
国際陶芸スタジオ (ハンガリー)  
プリンセスホフ陶芸美術館 (オランダ)  
ヴロツワフナロドヴェ美術館 (ポーランド)  
オーストラリア国立美術館(キャンベラ)  
ハミルトン美術館 (オーストラリア)  
ポートランド美術館  
オレゴン (USA)  
アジア美術館  
サンフランシスコ (USA)  
ファエンザ国際陶芸美術館 (イタリア)



ニューカッスル美術館（オーストラリア）等

コミッションワーク

1993 「泡の誕生から古代緑地、そして泥炭層へ」

見附市文化ホールホワイエ陶壁 新潟県

1996 「コペルニカス以前の泥」 岐阜市神田町通りモニュメント 岐阜市

泉佐野市総合文化センターモニュメント表層・深層 大阪府